



30年度一般会計補正予算案を可決



石山副市長の再任案に同意

3月定例会の最終日に、石山清和副市長の再任案が上程され、賛成20・反対0・退席3・欠席1（青山ゆたかは賛成）でこれに同意しました。

石山氏は市の財務部長や総務企画部長等を歴任し、平成27年4月に副市長に就任されています。

今後市発展に全力で取り組まれることを期待します。

30年度の一般会計補正予算案（第7号）を出席者全員賛成で可決しました。累計額は555億700万円となります。主な事業は次のとおりです。

●**プレミアム付商品券事業【735万円】**
消費税引き上げに伴う国の経済対策の一環として、低所得者・子育て世帯に販売するための事務費

●**農業生産基盤整備事業**
【2億412万円】
ほ場の大区画化等の整備に対する負担金等の増額

●**スマートインターチェンジ設置事業**
【4360万円】
歩道部分へのロードヒーティング追加工事等の負担金等の増額

※除雪費4億円を追加した30年度一般会計補正予算案（第6号）の専決処分も出席者全員賛成で承認しました。

議員インターンシップを受け入れ!

青山ゆたかは3月7日〜22日の日程で「若者の投票率向上」を目指すNPO法人ドットジェイピーが展開する議員インターンシップ事業で仙台市の大学生2名を受け入れました。
受け入れ期間が3月定例会と重なっていたことから、学生は本会議や各常任委員会、議会内の各種会議を傍聴し、休会日と閉会以降は青山ゆたかの活動に同行し、「地方議員の仕事」を体験すると同時に、「地域」について学んでいただきました。



■戸田悠太 君
・福島市出身
・東北大学理学部
物理学科

この度、青山さんの傍らで、あらゆる側面から議員の仕事を見せていただきました。以前は、議員は私たちから遠い存在だという印象がありましたが、私の想像以上に市民の皆さんと交流する機会が多く、驚きました。政務活動費が十分ではなかったり、議会で行使できる力が限られていたりなど、議員は苦しい部分もありますが、その一方で、私たちの声を市政へ届けてくれる必要不可欠な存在であると感じました。



■藤田和隆 君
・能代市出身
・東北学院大学教養学部
地域構想学科

今回の議員インターンシップを通じて、様々な事を学びました。主に2点です。1点目は問題の本質を考える事です。議会改革推進会議では、質問の形式について話し合いが行われていましたが、どうやって分かりやすいものになるかに意識していました。2点目は一次情報の重要性です。今回、様々な方からお話を聞きましたが、そういった市民の想いを踏まえていく事が政治家の使命だと感じました。今回の学びをこれからも活かしていきたいです。

